

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度：平成30年度】

※1～6: 所管課記入、7: 指定管理者記入、8～9: 指定管理者及び所管課記入、10: 指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市まちづくり課(松本建設事務所)
指定管理者	TOY BOX

1 施設名等

施設名	長野県松本平広域公園	住所	松本市神林5300
		電話	0263-57-2211
		ホームページ	https://shinshu-skypark.net/

2 施設の概要

設置年月	昭和(平成)6年 4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため。		
施設内容	競技スポーツゾーン 陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、国体の森、ピクニック広場、マレットゴルフ場 ターミナルゾーン やまびこドーム、シンボル広場、イベント広場、大型木製遊具、展望台、ふれる彫刻 ファミリースポーツゾーン 南管理棟、サイクルセンター、パターゴルフ場、大芝生広場、木製遊具、ニュースポーツ 野と花のゾーン 展望広場、ワイルドフラワー園、玉石広場、風の丘 花のプロムナードゾーン パラ園、花木の小径 みどりのプロムナードゾーン ストリートバスケットコート、クライミングウォール、壁打ちテニスコート みどりの交流ゾーン 総合球技場(アルウィン)、芝生グラウンド、多目的広場、マレットゴルフ場 開園面積: 141.6ha		
利用料金	有料施設: 陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、総合球技場、芝生グラウンド、やまびこドーム、パターゴルフ場等(施設により料金は異なる。)		
開所日	年中無休		
開所時間	8:30～22:00		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	直営・管理委託	財団法人長野県公園公社
平成18年度～20年度	指定管理	TOY BOX
平成21年度～25年度	指定管理	TOY BOX

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	TOY BOX	指定期間	平成26年 4月 1日 ～ 31年 3月 31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)		

5 指定管理料(決算ベース)

平成30年度(A)	平成29年度(B)	差(A)-(B)	※(A): 当該年度、(B): 前年度(以下同じ)
384,075 千円	385,226 千円	-1,151 千円	
		増減理由	経費縮減に伴う支出の削減、光熱水費の高騰による支出増加分、消費税増税に伴うH26利用料金改定による増収分を差し引いたこと、H29年度工事に伴う植物管理業務及び清掃業務等による増加

6 指定管理者が行う業務

(1) 都市公園(建物、備品等を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務
(2) スポーツ施設等の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標: 利用者数・利用件数・稼働率】

(単位: 人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度(A)	101,640	73,495	133,162	87,081	56,318	52,160	144,257	70,170	20,138	14,173	13,129	66,856	832,579
平成29年度(B)	70,235	69,185	172,799	75,614	47,303	74,056	175,820	53,482	14,305	13,496	12,565	22,308	801,168
(A)/(B)	144.7	106.2	77.1	115.2	119.1	70.4	82.0	131.2	140.8	105.0	104.5	299.7	103.9
増減要因等	減少要因: 6・10月ドームイベント利用減(△80,000)、9月J・天皇杯試合数減(△20,000)、2・3月フェア準備減(△4,000) 増加要因: 4月ドームイベント増(10,000)、4・8・11・3月J試合数増(98,000)、5・7月J・天皇杯利用者数増(20,000)、12月陸上体育館合宿利用等増(5,000)												

(2) 利用料金収入

(単位: 千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度(A)	9,571	7,047	10,189	11,743	6,892	6,399	9,716	6,894	2,653	2,436	1,651	7,432	82,623
平成29年度(B)	7,980	7,762	12,237	9,676	6,019	9,239	9,609	5,784	2,616	2,637	1,946	2,967	78,472
(A)/(B)	119.9	90.8	83.3	121.4	114.5	69.3	101.1	119.2	101.4	92.4	84.8	250.5	105.3
増減要因等	減少要因: 6月ドームイベント等収入減(△2,300千円)、9月J・天皇杯等試合数減による収入減(△3,100千円)、1・2・3月フェア準備期間収入減(△1,500千円) 増加要因: 4月ドームイベント増(600千円)、4・8・11・3月Jリーグ試合数増による収入増(8,500千円)、7月天皇杯による収入増(2,200千円)												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・ 無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成30年度(A):365日 平成29年度(B):365日	平成30年度(A):8:30~22:00 平成29年度(B):8:30~22:00	有・ 無	

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> ・長野県発注の整備工事およびフェア発注の工事に対し、安全協議会等の定期打合せの他、状況に応じて随時打合せを行い園内施設や地下埋設物関係、イベント等の情報提供を行い、来園者とトラブルなく工事が円滑に進むよう協力した。 ・遊んで学んでスカイパークなどの自主事業において、信州花フェスタ2019告知ブースを設けイベントの機運を盛り上げた。 ・オリンピック出場選手を招いての陸上教室(オリンピック)や女性向けのランニングイベント等を新規で行い信州ACEプロジェクトに貢献した。 ・南管理棟ではミストの他にも大型イベントでは冷風扇を設置し、来園者に涼を提供した。 ・園内放送用のスピーカー(みどりの交流)やアンプ(南管理棟)を更新し、快適な音質・音量にて放送できるようにした。 ・迷園の見晴台の床板が腐朽してしまったので根太材を取り替え、梁材を補強して使用できるようにした。

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> ・総合球技場の芝生を入れた「全勝守」を作成しJリーグ時に販売し好評を得た。 ・総合球技場電気室QB内漏電火災報知器が経年劣化により機器の誤発報が発生したため取り替えた。 ・RFID(電波個体識別技術)を活用したオリエンテーリング(見習い魔女のさがしもの)を実施し、公園南側の利用促進を図った。 ・やまびこドーム利用者と整備工事業者と打ち合わせを行い、大型イベント等がスムーズに開催できるようにした。 ・セグウェイ乗車体験をJリーグ等の大型イベントで実施した。 ・信州花フェスタ2019を盛り上げるため緑化啓蒙の緑化講習会を県との共催で年3回開催し88名が参加した。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ場のホールポストが折れた。⇒ ホールポスト取り替え ・多目的トイレのベビーキープの座面が外れている。⇒ 後継機種で交換 ・駐車場入口付近の日陰に駐車されている。出入りする時に邪魔であり、危険でもある。⇒ 駐車禁止の看板とコーンを設置 ・パークマップにスケールと目安となる距離を入れてほしい。⇒ スケールを導入した案内板を設置 ・外に温度計を設置してほしい。⇒ 南管理棟に設置 ・総合球技場のステップがずれている。⇒ ステップを修繕

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ●協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、年間維持管理計画に従って管理運営を実施すると共に月例での打合せを実施し県と情報共有に努めた。 ●部署ごとの毎月行うミーティングや内部講習会の実施、外部講習会への出席や公園管理運営士・グリーンアドバイザー等の資格取得を奨励してスタッフの知識向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書、仕様書及び事業計画書に基づく管理運営を実施したと認められる。また、施設清掃や植栽剪定等を定期的に行い、質の高い維持管理を行ったと認められる。 ・施設管理者として、高い意識を持ち、15以上の研修会に参加しており、管理運営能力の向上に努め、丁寧な接客を心掛けていると認められる。 	A
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●H31年度の一般受付に向けて告知を行い、予約開始日初日は受付・来訪双方で予約一覧の用紙をコピーし保管して間違いがないように改善を行った。 ●利用者調整会議を実施し、大会の平等・公平な利用を図った。 ●外国人利用者にも円滑に利用してもらうよう言語翻訳機を配備し、平等な対応を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H31年度の施設利用の一般受付において、間違いが無いように改善を図る等年間を通じた平等な利用確保の実現に努めたと認められる。 ・外国人利用者にも円滑に利用してもらえるよう、利用者が平等に利用できる公園の実現に努めていると認められる。 	A
利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●信州花フェスタ開催に向けて実行委員会や整備工事安全協議会との調整を行い、園内通行制限や問い合わせなどを来園者へスムーズに行えた。 ●DIM(Do It Myself)修繕を積極的にを行い、迅速に修繕することで利用者に安全なサービスの提供ができた。●見所や飛行機のビュースポットなどを記載したガイドブックを設置し、より親しみやすいように促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信州花フェスタ開催に向けて実行委員会等と調整を行い、園内通行制限や来園者からの問合せ等の対応を迅速に行ったと認められる。 ・DIM(DoItMyself)修繕を積極的かつ迅速に行うことで、利用者に安全なサービスを提供できるよう努めていると認められる。 ・公園の見所や、飛行機のビュースポットなどを記載したガイドブックを設置し、利用者により親しみやすい公園になるよう努めていると認められる。 	A
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ●サンアルまで歩こう!健康ウォーキングを開催し、健康促進と地域との交流を図った。 ●松本市のイベントである、総合球技場でのパブリックビューイングや、ノーマイカーデーにおいて、おもしろ自転車の貸し出しを行った。 ●昨年度から引き続き県と共催で緑化講習会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンアルまで歩こう!健康ウォーキング、緑化講習会等50以上の事業を企画し、年間2万2千人の参加を見た。 ・魅力ある自主事業をおとして、公園の利用者増、知名度向上に貢献したと考えられる。 	A
職員・管理体制	<ul style="list-style-type: none"> 常勤職員:32名、非常勤職員:6名、計38名 ●仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行うとともにメイン会場として予定されている信州花フェスタに向けて実行委員会と連携し体制の強化と準備に対応した。 ●有資格者による施設点検を適宜実施し、公園施設の長寿命化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の業務管理として職員を適正に配置するとともに、イベント等混雑時は対象施設へ重点的に職員を配置した。 ・信州花フェスタに向けて実行委員会と連携し体制の強化と準備が図られたと認められる。 ・施設管理、電気、清掃等の複数の専門分野からなる組織の特徴を生かし、施設点検を適宜実施し、公園施設の長寿命化を図っていると認められる。 	A
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ●本業と自主事業の収入合計514,317千円に対し支出合計506,153千円で8,164千円の収支差額となり、安定した運営を行うことが出来た。 ●アルウィン、やまびこドーム、陸上競技場のデマンド管理を徹底し、光熱水費の縮減に努めた。 ●更新を必要とする照明器具は積極的にLED化し、電気使用量を削減した。 ●提案書人件費予算90,622千円に対し、H30年度実績91,858千円(増減の理由:継続雇用によるベースアップと全国規模の大会やイベント対応への人員強 	<ul style="list-style-type: none"> ・8,164千円の収支差額があり、安定した運営ができています。 ・アルウィン、やまびこドーム、陸上競技場のデマンド管理を徹底し、光熱水費の縮減に努めている。また、更新を必要とする照明器具は積極的にLED化し、電気使用量の縮減に努めている。 ・日々の仕事、研修等で経験を積んだ職員が、意欲を持って勤務にあたれるよう、給与等接遇面での改善努力を行っている。 	B

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者数も前年比約3万人増の83万人となり多くの方にご利用いただきました。 ●毎年開催されるJリーグや大型イベントが、円滑に進むよう打ち合わせを行い問題なく開催された。 ●開催予定の信州花フェスタの準備について、県や協力団体などと密な打ち合わせを行い、円滑な公園運営を心掛けた。 ●日々の安心安全な公園づくりの結果として、施設の瑕疵による事件・事故の発生は0件であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書、仕様書及び事業計画書に基づく管理運営を適切に行い、植栽や施設的美観が細かいところまで確保され、快適な公園空間を提供している。大型イベントや大会も数多く開催され、自主事業と合わせて、日々多くの方に公園を訪れていただいた。 ・信州花フェスタの準備について、実行委員会や協力団体などと密な打ち合わせを行い、円滑な公園運営を心掛けていますと認められる。 ・日常の巡回/パトロール等を通じ、安心・安全な公園を実現することができた。その結果、施設の瑕疵による事件・事故の発生は0件であった。 ・利用者満足度調査のため公園内に設置した目安箱(言いたい方台)や自主事業イベント参加者への各種アンケートに寄せられた意見、要望に真摯に向き合い、利用者の立場に立った公園管理を行った。(有料無料施設利用者を対象に半年間行ったアンケートでは、公園の満足度について、「満足、やや満足」が86%と高い評価が寄せられた。) 	A
------	---	--	---

- <評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の増加に伴う各種要望への対応および支出の増加 ●法律の改正によって新たに必要となる建築確認や各種検査、点検、要望に対応できる柔軟な組織づくり ●公園利用者からの多様な要望を聞きつつ、適正で公平、平等な利用となるよう中味を精査し、対策と提案の実施。 ●老朽化する施設や備品に対する予防的修繕体制の確立。 ●安定的な人数と収入の確保に向けた対応策。 ●人材確保と若手スタッフ(20・30代スタッフ)のスキルアップ ●今後増えると予想される外国人来園者への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方が利用する空間と施設を有する松本平広域公園は県民の貴重な財産であるため、コスト削減を図りながら各施設の長寿命化対策を実施し、今後とも安全・安心な公園を維持する必要がある。 ・大型イベントの増加に伴い、様々な要望が寄せられるため、イベント主催者側と公園管理者が行うべきことを整理し、訪れる人の安全を確保するとともに、満足度を向上させていく姿勢が必要である。 ・新規イベントの誘致、魅力的な自主事業の開催、ホームページやパンフレットによるPR活動、アンケートによる利用者の意見を参考にすることなどにより、さらなる賑わいを創出する取組が必要である。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況

【実施年月日:平成27年12月14日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
<p>【施設の目的に沿った管理運営】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的に内部講習会や外部研修会に参加し、スキルの上昇やDIM修繕の意識強化に努めている。今後は、職員のキャリアアップや人材育成にも力を入れていけば、施設全体の活性化、顧客へのサービス向上に役立つと思う。 2. 施設の長期的な存続を実現するために県への適時正確な情報提供をお願いしたい。 3. 協定書、仕様書等に基づく管理運営に努めている。 4. 広大な敷地の管理を職員の専門性を活かしつつ、情報端末を駆使することで少人数の職員でこなしている。 5. 職員の接客、マナーが素晴らしく、継続して欲しい。 6. トイレなどが気持ちの良い使い勝手となっており、芝の管理等も適切に行っている。また、寒冷地での施設管理が適切にされている。 7. 老朽化が進んでいる施設を良好な状態に保っていくための取組を十分に行っている。 	<p>H30年度、グリーンアドバイザー2名、緑の安全管理士2名の資格取得。この他主要スタジアム情報交換会に3名が参加しピッチ管理の先進施設で学ぶなど人材育成に力を入れ利用者サービス向上に努めた。</p> <p>月次検査時等において、施設管理運営に関する情報提供と技術提案するなど、長寿命化を含む県の施策現実に向け、協働して取り組みを行った。</p> <p>協定書、仕様書等に基づく管理運営に努め、職員の専門性を活かしてDIMによる施設修繕を行い、施設管理を適切に実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者へは、指定管理者業務を長期間担っており、質の高い維持管理にあっているが、本評価を機に改めて、日々の業務、研修が形骸化している面はないか、コンプライアンス、ホスピタリティーに欠けることはないか、注意するようお願いしました。 ・日常の管理運営において確認した情報の提供及び施設の長寿命化に向けた提案に取り組むよう指導しました。
<p>【平等な利用の確保】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な時期での利用者調整会議の開催により、団体の平等な利用が確保されていることが良く、利用者アンケートの高評価にもつながっている。 2. 一方で、長期間継続して会議運営を司ることにより感覚が鈍るリスクがあることも認識して、利用者に対して機会均等を保証する環境を継続して整えてもらいたい。 3. 県の施設として全県民に向けた効果的な広報活動を期待する。(県広報による働きかけ) 4. 対象が変われば、広報や告知の手法も変わる。年齢、地域、職域等のニーズに対する研究が有効である。 5. 「スポーツへの関心ゼロ」といった県民に公園の魅力、利用価値を伝えていく発想が欲しい。 6. 公園ボランティア登録によりシニア層へ参加促進を。 7. 支えるスポーツでマレットゴルフ場のマナー推進を。 8. 一般への無料開放日も考慮のうえ実施されている。 	<p>適切な時期(2月)に利用者調整会議を開催し、引き続き利用者(77団体)に対して機会均等を保障する環境継続に努めた。また公園管理に生かす為アンケート調査を実施した。</p> <p>ホームページの更新、Facebook、広報紙「スカイパーク通信」を活用した幅広い情報配信、広報活動を実施した。</p> <p>充実したボランティア活動となるよう事前打合せを密に行い、参加推進及び公園利用のマナー推進の周知を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者調整会議参加者の声を聞きながら、適切な時期に開催をし、団体の平等な利用が図られるようお願いをしました。 ・ホームページやFacebook等を活用した幅広い情報発信を始め、多くの県民に公園を利用してもらえるようPRするよう指導しました。
<p>【利用者サービス向上の取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 長野県のACEプロジェクトに合致する利用可能な公園であり、県の施策に沿った事業を期待する。 2. 広報紙を主に小・中学校などの一部にしか配布していないのが残念である。もっと幅広い世代に見てもらいたい、多くの場所(地域づくりセンター、公民館等)に配布して、よりたくさんの方の利用につながれば良い。 3. 子ども達が来てもらえるよう子ども向けのPRを。 4. 外遊びができなくなっている子どもや孤立化する高齢者をターゲットにサービスを展開して欲しい。 5. 会議室利用(特にスポーツ団体へ)のPRができればと思う。 6. 来場者以外の県民にアンケートを実施してみてもどうか。 7. 紙には残らない生の声におけるクレームや建設的な意見などを、現場で共有すべきもの、県と共有すべきものに整理する仕組みを検討して欲しい。 8. 職員の接客態度が好評であり、各年齢層の職員のエネルギッシュな姿勢が感じられた。 9. 意見ポストに丁寧に答え、対応している。 10. トイレを始め、施設の管理、清掃が行き届いている。 11. ブログでの発信など、努力している姿勢が良い。 	<p>ACEプロジェクトなど県の施策に沿った公園特性を活かした「春のランニングフェスティバル」・「信州大学マラソン」・「年末走り納めランニング」・「ナイターランニング」・「レディラン」を企画開催した。</p> <p>広報紙の配布エリアを拡大し公園利用の拡大を図った。ホームページやFacebook等のSNSを活用し、全ての世代が参加できるイベントの告知、会議室利用の告知を展開した。</p> <p>月次検査時等において、利用者からの声に関する情報を提供し協働して取り組みを行った。</p> <p>若年者就労支援の一環として、施設管理、清掃活動に取り組み、利用者サービスの向上に努めた。「言いたい方台」の意見への対応を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやFacebook等を活用した幅広い情報発信を始め、多くの県民に公園を利用してもらえるようPRするよう指導しました。 ・公園の活性化、PRにつながるようさらなる魅力ある自主事業の企画をお願いしました。 ・アンケートや投書から利用者の声を拾い、公園のサービス、利便性の向上につなげるよう指導しました。

<p>【自主事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. おもしろ自転車やニュースポーツなど、レクリエーション的な環境が用意されている。 2. 自転車のレンタルは、知人からも好評であり、引き続き、利用者増加とサービス向上に努めて欲しい。 3. 多岐にわたる事業の実施により、利用者数増加の効果があがり、継続的な実施を期待する。 4. 環境に恵まれている「SKIP総合型スポーツクラブ事業」が、総合型スポーツクラブのモデル事業にまで成長することを期待する。 5. ホースシューズやインディアカなどの馴染みのないニュースポーツの紹介があるとうい。 6. 今後の検討では、今まで公園に来たことのない人を引き寄せるようなイベントも考えてもらえればと思う。 7. 「春の松本ランニングフェスティバル」のような大イベントを他の季節でも企画できれば素晴らしい。 8. 花の会等のボランティア活動が盛んになればと思う。 9. 利用者団体へボランティア活動の働きかけを行ってはどうか。 	<p>自転車貸出・おもしろ自転車などの貸出事業は、日々の整備と合わせ随時更新をし、サービス向上に努めながら実施した。</p> <p>馴染みのないニュースポーツ等については、各協会や総合型地域スポーツクラブと連携しイベントを開催した。</p> <p>新規イベントとしてRFID技術を利用したオリエンテーリング事業(見習い魔女のさがしもの)、女性ランナー向け「レディラン」を開催した。</p> <p>昨年度から継続して信州花フェスタに向け、緑化講習会を年3回開催した。</p> <p>経験豊かなシニア世代や女性、あるゆる世代の方々が力を十分発揮できるよう花守の会、マレットゴルフ、利用者団体等ボランティア活動を実施し公園美化を図った。</p>	<p>・公園の活性化、PRにつながるような魅力ある自主事業の企画をお願いしました。・様々な機関と協働することで、ユニークな事業を企画し、公園になじみのない方にも来園してもらえるような取組をお願いしました。</p>
<p>【職員・管理体制】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職員研修により、危機管理、安全配慮、接遇意識が醸成されており、今後も職員の質の向上を図って欲しい。 2. 共同事業体は、組織一丸で一つの方向に向かっていく事が難しい面を孕んでいるため、職員全員がモチベーションを高め、同じ目標、方向を目指すことを阻害する要因がないか検証し、それを取り除く取組を進めて欲しい。 3. 就業規則の内容、36協定ともに適正である。 4. 社会保険加入状況、長時間労働の有無、シフト勤務内容等、適正な労働管理が行われている。 5. 利用者のトラブルには複数職員で対応しており、防犯カメラ等も活用されている。 6. 各グループが、チームとして機能している。 	<p>安心安全な公園を実現し質の高いサービスを提供するため、部署ごとの毎月行うミーティング、職員研修を実施し危機管理・安全配慮・接遇マナー向上とコンプライアンスの順守の徹底を図った。</p> <p>常に業務の見直しを行い共同企業体として、組織一丸となって管理運営に努めた。職員が生活を充実できるよう無理のない勤務シフト・適正な労働管理を行い、スタッフが働きやすい職場環境づくりに努めた。</p>	<p>・指定管理者へは、指定管理者業務を長期間担っており、質の高い維持管理にあたっているが、改めて日々の業務、会議、研修が形骸化している面はないか、コンプライアンス、ホスピタリティーに欠けることはないか、注意するようお願いしました。</p>
<p>【収支状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模な改修が予定されている場合は、計画の段階で収入見込みを減らす等の対応が必要である。 2. 老朽化が進み、今まで以上に修繕費が増える方向にあり、長期的視点から修繕・維持管理費を最小化させるために指定管理者としてできることを検討して欲しい。 3. TOYBOXは県と松本市の指定管理を受託しており、受託事業ごとの決算報告書を作成することで県と市への事業報告としている。会計監査人の監査により、事業体全体の決算報告書には適正意見が付されているが、受託事業ごとの決算報告書は監査対象外であるため、本部経費の配賦の適切性については監査されていない。本部経費の配賦方法により事業別の損益が大きく変化するため、基準が適切か、継続して同基準が適用されているか、予算と大きく離れた場合の分析などについては、県もモニタリングによる確認が必要である。 	<p>改修工事時の打合せ等を行い収支を予想し計画・見直しを実施した。</p> <p>予防修繕の観点から、修繕・維持管理費を最小化させる検討を行い、できる限り長寿命化に努めた。老朽化が避けられない事項については引き続き県と協議しながら対応を行った。</p> <p>県と市の本部経費の取扱いについては、引き続き同基準で継続し年度ごとのブレが無いよう努め報告をした。</p>	<p>・維持管理において確認した情報に基づいた修繕、維持方法の提案を県へ行う等、効果的な運営に取り組むよう指導しました。</p> <p>・指定管理者として適切に予算を執行しているか、毎月の毎月の月次検査や事業完了検査を通じて確認してまいります。</p>
<p>【総合評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の指定管理者を決める公募ではTOYBOXのみ応募であり、他者との競争がなかったことで協定の条件が甘くなった、管理の質が落ちたなど言われることのないよう、今まで以上に意識を持って適切な管理運営を目指して欲しい。 2. 一度に数万人規模のイベントもあることから、今後も安心・安全な運営を続けてもらいたい。 3. 接客やマナーへの評判もよく、適切な管理運営である。 4. 管理体制が毎年向上しており、高く評価できる。 5. 職員の主体性や意欲が具体的であり、一人ひとりの意識の高さが感じられた。 6. 施設管理(ハード)について、多角的な視野・方法で維持・管理・修繕等がなされている。 	<p>ご来園いただいた方が、気持ちよく利用し満足していただけるよう、公園の管理運営に努めた。職員のスキルアップを図るため職員の資格取得の推奨、研修会等を実施した。</p> <p>県のACEプロジェクトによる健康増進、信州まつもとと空港国際化による外国人観光客の増加への対応(案内看板更新、翻訳機配置等)、施設の老朽化に伴う不具合(放送設備・非常用発電機・配管等)の対応の検討を行い、限られた予算で維持管理運営を行った。</p>	<p>・アンケート等に表示される公園、職員に対する高評価、好印象を維持し、さらに向上させるために、「県民から管理を任せられている」という意識を常に持ち、安心・安全な公園の管理運営に当たるよう指定管理者を指導しました。</p>